

■ 銘柄:東京白金 ■

氏名 田栗 満

オシレーターは買いのまま、4481円を目指す動き・・・



■ コメント ■

本日の白金は、27円高の4443円で終わっている。東京(15:30)の白金スポットレートは1547.2ドル。
 本日の東京市場は、寄り付きからNY市場下落と為替の動きを受け売られて始まったが、12:30の豪州の政策金利の発表まで「利上げあり」と踏んだ買いから徐々に価格は戻りを入れ、一時4446円まで上昇した。そして豪州準備銀行が0.25%引き上げを発表すると利益確定の売りに押され、4432円まで下値を試した後は、午前中の高値4446円を上回ると4453円まで高値を追って終わっている。特に高値追いを続けている動きでも、本日は日足で上ヒゲ線を引き高値に対して抵抗を見せており、買いの回転が早く上値を抑える動きとなっている。しかしオシレーターは、ストキャスティクスや相対力指数(RSI)が買いに変化した状態を続けており、下値不安も無くなった状況でないか。 tonightには、米国時間に2月の新車販売台数の発表が控えており、明日にはギリシャ首相の証言、米国の地区連銀経済報告(ページブック)の発表となっており、ギリシャ首相の発言によってはユーロ買い・ドル売りとなる可能性がある。東京白金の目標値としては、40日移動平均線が位置している4481円に向けた上昇に期待したい。(16:57記 田栗)

■ テクニカル ■

移動平均(10MA)	4429円
移動平均(40MA)	4481円
RSI(9日)	52.86%
%D	47.4
slow%D	37.46

商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の間に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。
 詳細につきましては、みんなのコモディティ研究所右上に掲載されている『取引の重要事項』をご確認ください。